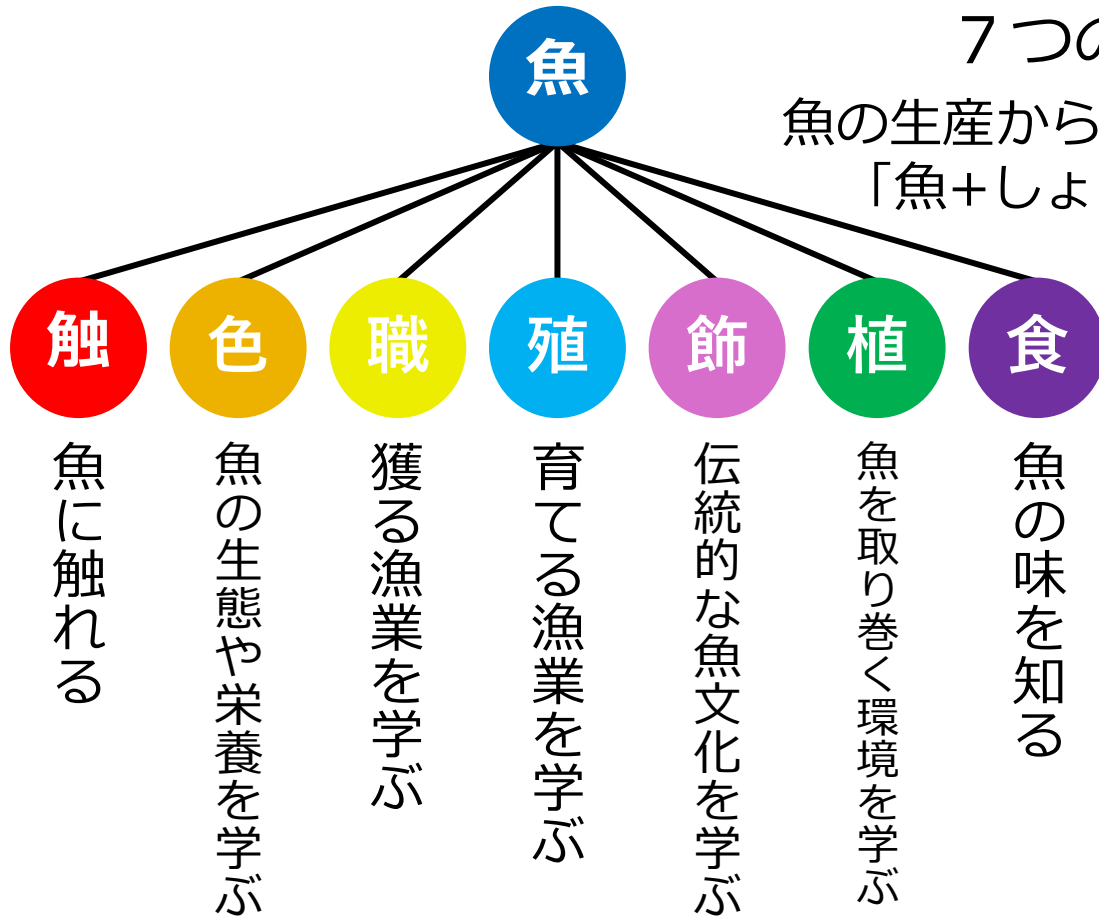


愛南町ぎよしよく教育における 現在の課題と今後の展望

愛媛大学社会共創学部産業イノベーション学科海洋生産科学コース3回生
杉本和歌菜・檜垣汐音・山本心優

ぎよしよく教育とは

海洋環境、資源の持続的利用、地域文化などの幅広い視点から
水産業への理解を深める総合的な教育活動



ぎよしよく教育の主な目的

- ・ 水産業の担い手の誘致・育成
- ・ 水産物の消費拡大

愛南町の取りくみ

ぎよしよく教育サイトの作成

- ・ 愛南ぎよしよくキッズマイスター学習サイト
- ・ ピアザ愛南ぎよしよく

出前授業の実施

ちりめんモンスターを用いた体験活動

植

職

色

触

など

大学と水産課が協力



背景と目的

ぎよしよく教育：2005年から約20年間継続



- ・ぎよしよく教育の意義
 - ・ぎよしよく教育の成果の有無
 - ・ぎよしよく教育の課題
- を調査



現在の実施状況と課題の整理



今後のぎよしよく教育の充実と発展につなげる

調査方法

調査対象

船越小学校

城辺小学校

緑小学校

柏小学校

平城小学校 計29名

行政（水産課） 4名

大学生 11名

大学教員 5名

計20名

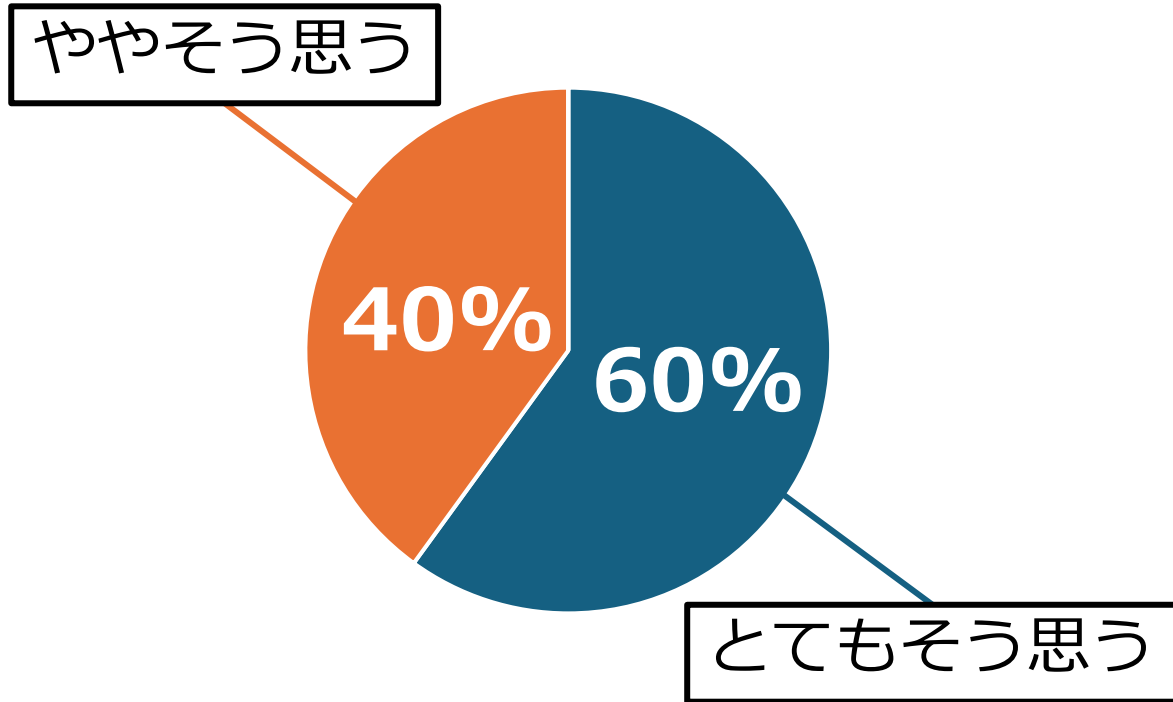
総計49名

調査方法

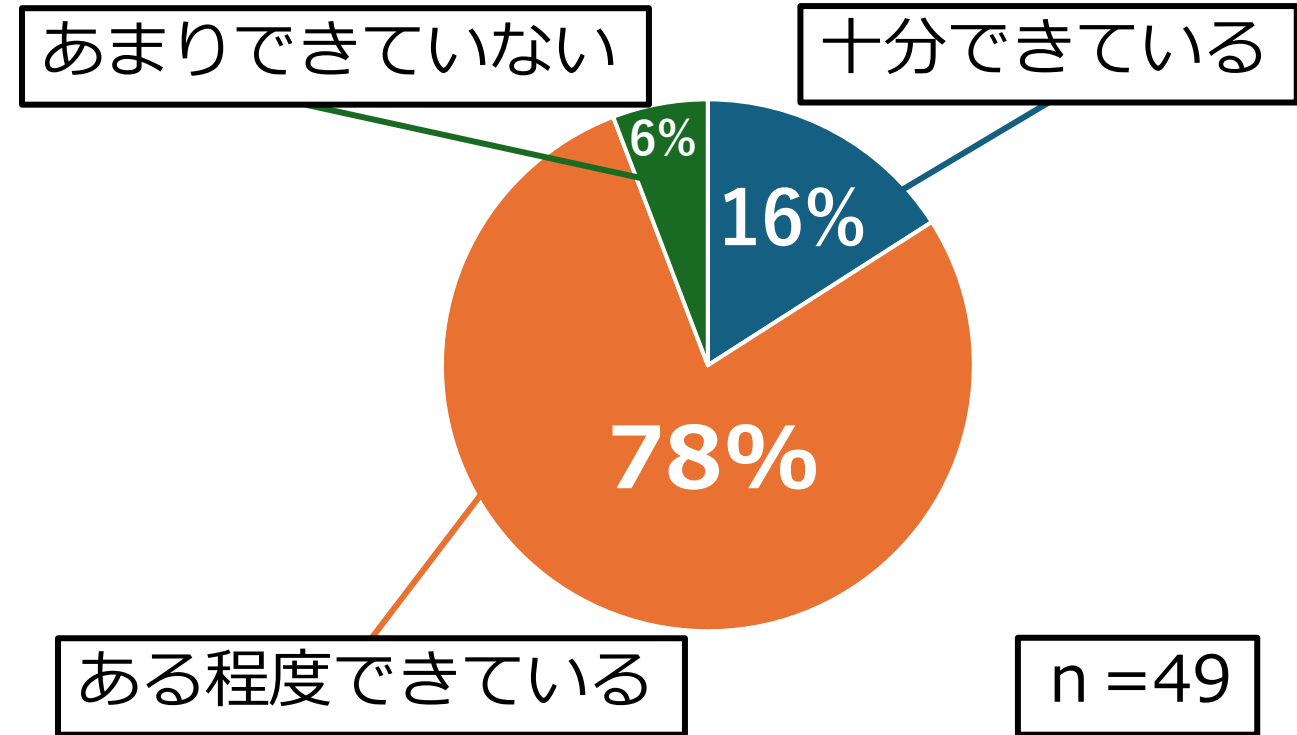
- ・ 現地訪問による**アンケート調査**
- ・ 複数校での**聞き取り調査**を実施

結果

ぎよしよく教育は、
小学生にとって重要だと思いますか

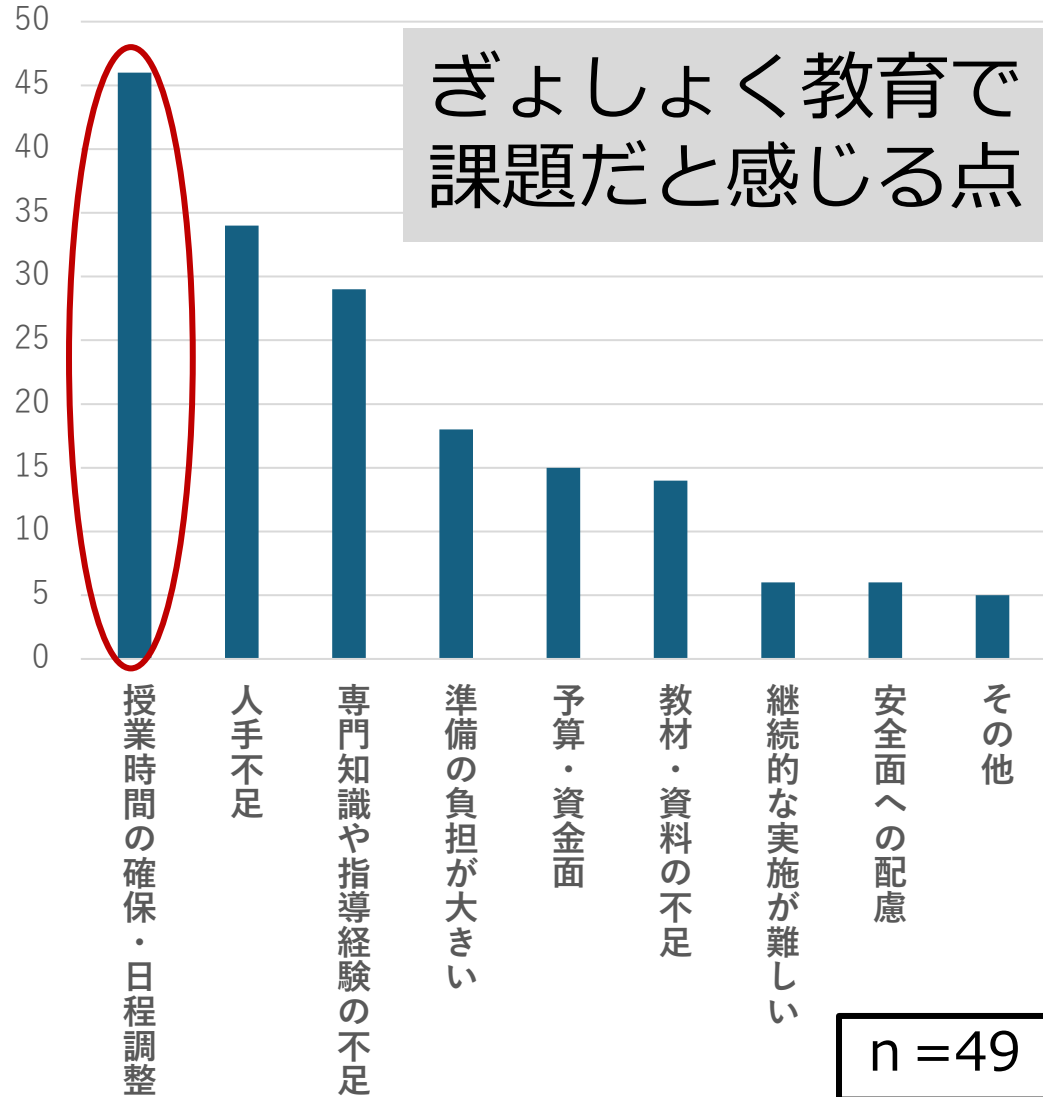


現在、ぎよしよく教育は目的をどの程度
達成できていると思いますか。



ぎよしよく教育は高い満足度を得ており愛南町に根付いている

課題



水産課

- ・内容の更新が行われていない



実際に

小学校

- ・マンネリ化してきている

課題①

時間の確保

課題②

マンネリ化

考察

小学校 標準授業時数が約70時間増加

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
総授業時数	782	840	910	945	945	945

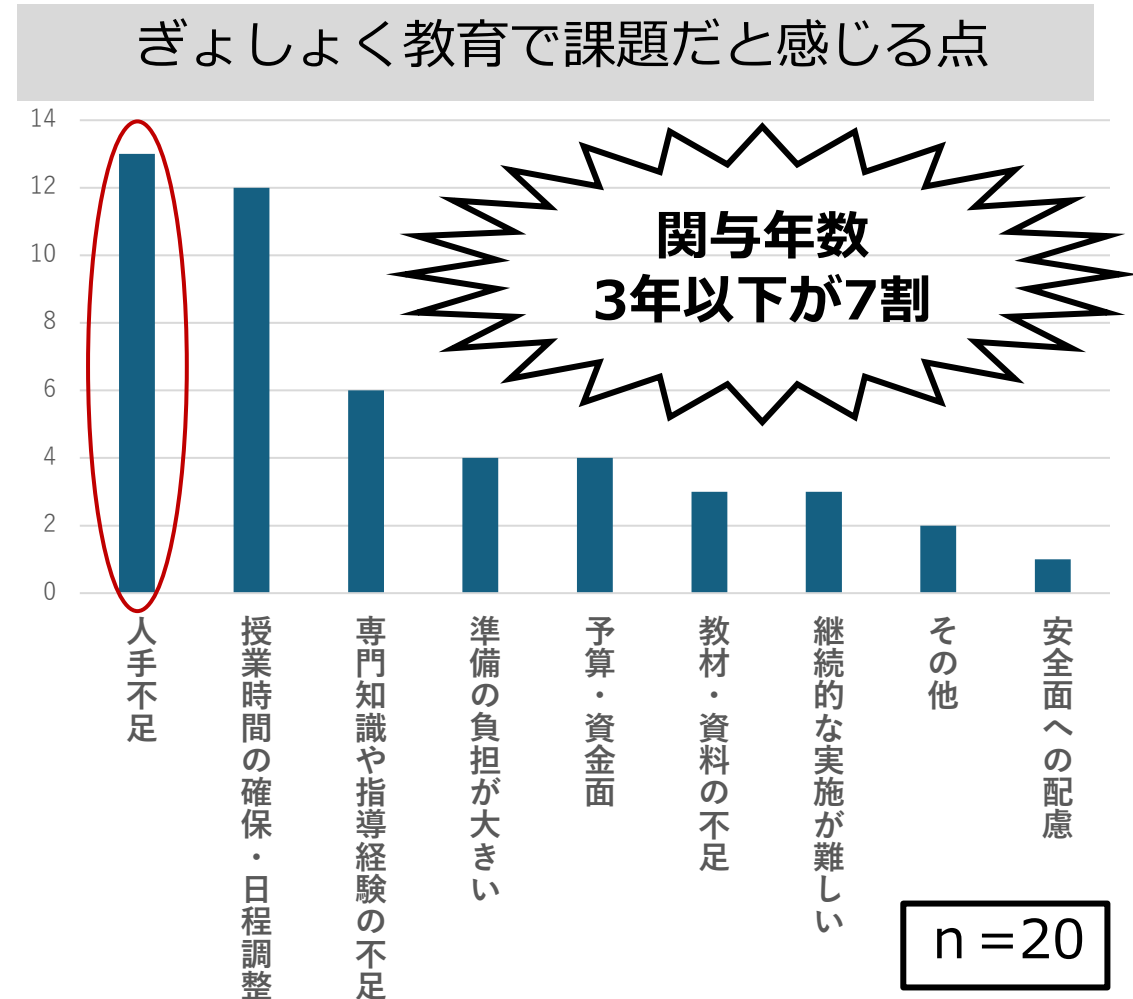
小学校学習指導要領 平成15年一部改正



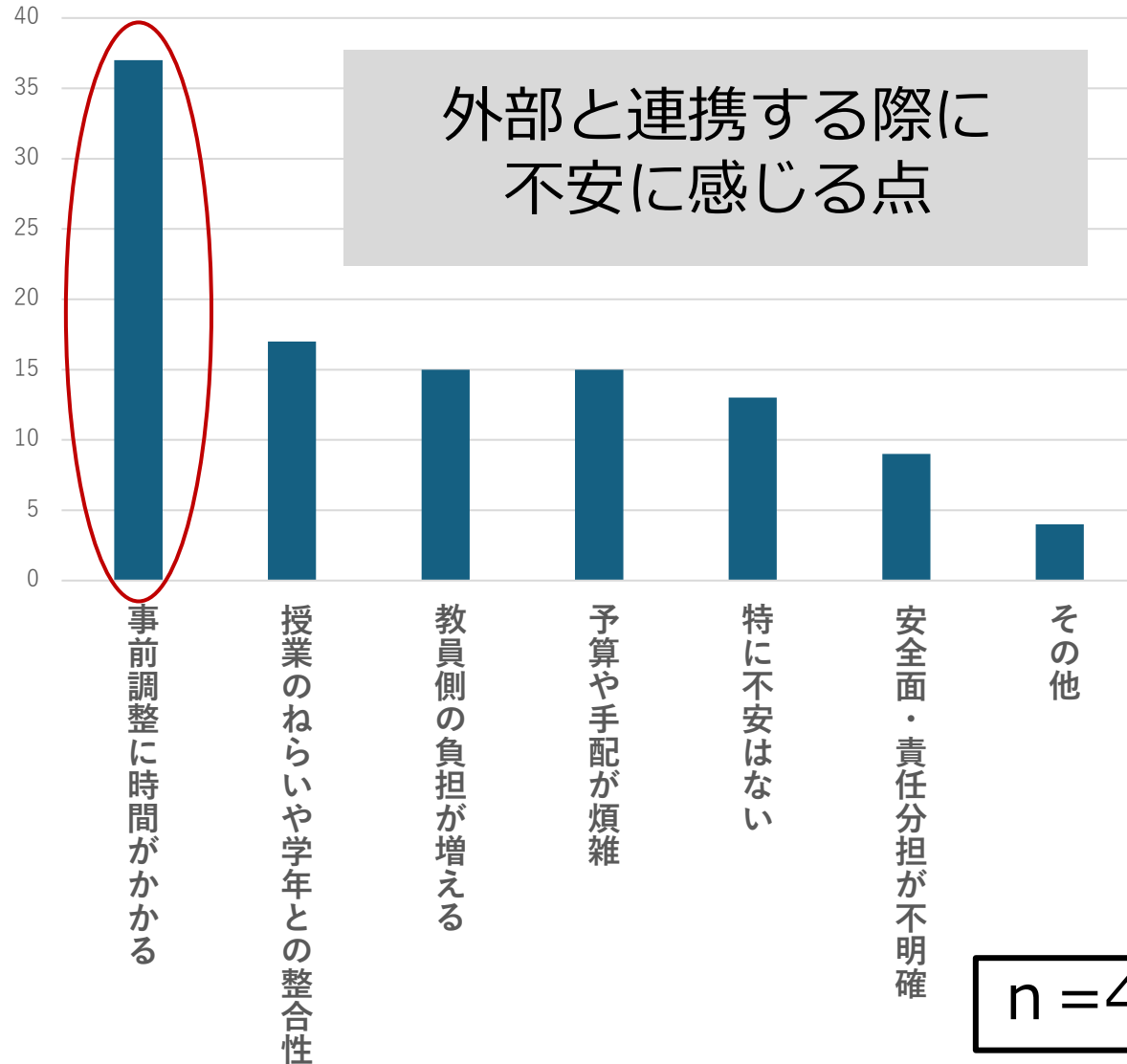
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
総授業時数	850	910	980	1015	1015	1015

小学校学習指導要領 平成29年告示

行政・大学 人手や関与年数の不足



考察



授業を行う側も授業を受ける側も
時間不足のため定期的な連携も
難しくなっている



ぎょしょく教育の最終的な
目的意識の薄れ



教育内容の固定化

提案：課題解決に向けて

①授業外・長期休暇を利用したイベントの開催

- ・環境問題学習のパッケージ化
- ・様々な魚の調理体験
- ・タッチプール



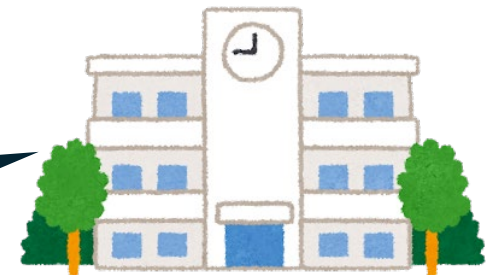
新たな教育内容で
マンネリを解消



②マニュアルの作成

➡ 長期間ぎょしょく教育に関与していない人でも
少ない準備時間で安定したクオリティの授業を行うことができる

より学校や学年に合わせたパッケージが
整っていればいいと思う



提案：中高生を対象とした取り組み

色

水産業への従事者の増加という目的の達成のために

職

➡ 進路選択を意識し始める中学生・高校生まで対象を拡大

殖

自由記述

飾

- ・ 突発的なイベントのままでは、本来の狙いにせまれないのでは
- ・ 中高生へのぎょしょく教育の不足
- ・ 就業に結びついているか不明

植

➡

中高生に向けたぎょしょく教育の実施

提案：ぎよしよくHPについて

色

自由記述

職

- ・ぎよしよく教育の対外的な認知度の低さ
- ・家庭で食べる機会が少なく「食」という点では定着していない
- ・新しい教材づくりを求める声

殖



飾

- ・ **ピアザ愛南ぎよしよくの検索エンジン最適化**
- ・ **家庭での学習に使えるコーナーを増やす**

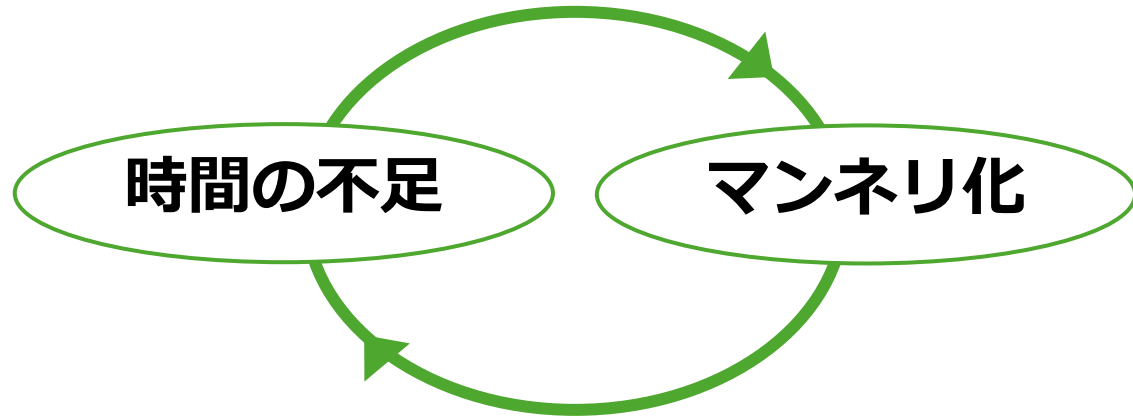
植

- ・ 伝統的な魚料理や、新たな魚のレシピの公開
- ・ ぎよしよく教育用ゲームの配布
- ・ 自由研究のヒントの掲載

など

まとめ・今後の展望

現在の課題



現在の現場の声が反映された資料を得た



これを組み込むことで
時代に適した
より効果的なぎょしよく教育が可能

しかし…根本的な人手不足は解消しておらず悪循環に

魚に関わる民間の人々へ
調査の輪を広げる



現在ぎょしよく教育に参加していない人が
参加しやすくなるシステムの構築

人手不足解消と新たな教育プログラム作成の両立

ご清聴ありがとうございました

